

令和7年6月1日

日立理科クラブ通信

No.245



日立理科クラブ

理数アカデミー 合同入校式

5月25日(日)、理数アカデミーの17回目の合同入校式が日立市教育プラザで行われました。今年度の受講希望者は、共同開催の UTokyoGSC・Next 萌芽コースへの全国からの応募者を含めて約125名(別途選抜予定)でした。

対面で参加している受講生は、記念に来賓の方々や講師と集合写真を撮りました。

入校式では、来賓の日立市教育委員会折笠教育長から、「全国から集まった受講生と積極的に交流してほしい。そして、多様な考え方を学んでほしい。」また、日立理科クラブの瀧澤代表から「今年度はこれまでで最も多い人数が参加している。日立の社長に日立市出身の方が就任した。皆さんも大きな夢をもって参加してほしい。」と受講生への励ましがありました。

受講生代表は、「理数アカデミーでは学校で習わないようなことも学べる。コミュニケーションの力を伸ばして将来の夢に近づきたい。」と、理数アカデミーに応募した理由や抱負を述べてくれました。

理科、算数・数学、自由研究の担当者からは一年間の活動方針や先端研究施設見学会、茨城大学工学部での特別授業の予定などについてガイダンスがありました。今年度は、通常の授業日の昼休みにキャリア学習の学習会を開くので、ぜひ参加して夢をふくらませてほしいという話もありました。「算数・数学」では、実生活の中で数学は役立っていることを実感するような問題を設定しているので、出席して考える力を伸ばしてほしいこと、「自由研究」では、少し背伸びをして研究者や技術者を疑似体験し自分の考えを論文にまとめたり、わかりやすく紹介したりする能力を高めていくという説明がありました。11月16日には自由研究成果発表会も予定されています。

また、東京大学の堀先生からは、「自分の考えを言葉で伝えること、また、友達の考えを言葉で受け取って考えることが大切。対話しながら学び、考えをよりよくしていくような問題を準備している」というお話がありました。川口教室との交流も予定されておりとても楽しみです。

入校式に対面で参加している受講生も、オンラインで参加している受講生も真剣に話を聞いており、意欲的に取り組もうとしているのが伝わってきました。

この日は、午前中や入校式後に早速授業がありました。授業では、受講生たちは目を輝かせて話を聞き、質問していました。授業の様子は、今後、取り上げていきたいと思います。



理科クラス



算数・数学クラス



自由研究コース



折笠教育長



瀧澤代表と来賓の方々



受講生代表挨拶



ガイダンスを熱心に聞く受講生